

県工事事故防止 へのご協力をお願いします！

県では、「第6次県工事事故防止対策推進計画」及び「令和5年度工事事故防止対策事業計画」を策定しました。事業計画では、工事事故の発生傾向を踏まえ、事務所ごとに安全管理目標及び具体的な取組を定めて重点的に実施していくこととしております。

このことから、営繕課・設備課では、下記の安全管理目標を設定し、目標達成のための具体的な取組を掲げ、事故防止に取り組んでいくこととしましたので、皆様のご協力をお願いします。

安全管理目標(数値目標)

労働災害 事故件数が多い種類の「転倒」・「転落・墜落」は「0件」を目指す

公衆災害 埋設管接触事故は「0件」を目標とします

その他 災害発生時の現場点検において被害状況報告遅れなし(0件)

具体的な重点取組

- 打合せ時に監督員より
 - ① 安全教育等において必ず「転倒」・「転落・墜落」事故防止の教育実施を指示する。
 - ② 災害発生時の対応を確認し、報告の厳守を指示する。
- 監督職員等の現場点検、安全パトロールを通じて「事故防止装具(フルハーネス, 防滑靴, 保護帽等)使用」, 「作業現場の整理整頓」を注意喚起する。
- 掘削作業時に埋設管接触事故が生じないように、事前の埋設管状況確認を徹底する。

事故事例紹介

- ◇ ローリングタワーの昇降梯子から降下中に、高さ約2mから足を滑らせて転落し、近くの作業員と接触
- ◇ 足場組立作業時に足場材(桙)をたてかけ、不足資材をとりこぼした際に桙に足を引っかけて転倒
- ◇ 足場の二段目(高さ 3.5m)組立作業中に誤って足を滑らせて転落

リーフレット等紹介(厚生労働省)

足場からの墜落防止のための措置を強化します

検索

足場を安全に使用いただくための H27 年改正労働安全衛生規則の改正内容を紹介しています。

安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

検索

建設業等の高所作業において使用される安全帯の H30 年改正、ガイドラインの内容・ポイントがわかります。

はしごを使う前に／脚立を使う前に

検索

はしご、脚立の使用前チェックリストとなっております。ぜひご利用ください。

職場のあんぜんサイト

検索

職種に応じた労働災害事例の紹介、安全衛生の動画教材での学習ができます。

